

# 令和元年度 第4回学校運営協議会 議事録

日 時 令和元年12月19日(木)16:00～17:00

場 所 逗子高等学校 会議室

## <出席者>

(委員) 角田、岩佐、高橋、村川、矢島、川島、波多野 (敬称略)

(学校) 校長、副校長、教頭、木下、澤野、小池、下山田、新村

## <議 事>

### 1 校長あいさつ

来年2月に本校の最後の入学試験が実施される。次年度の募集定員は238名(6クラス規模)となった。最後の受験者獲得のため、校長自ら近隣の中学校をほとんど訪問した。現在、逗子高校についている指定校推薦枠が残るのか、部活動の今後の保証はあるのかなど質問があった。また、地域の多くの方々から逗子高校はいい学校で再編統合が残念だとの声を聞いた。次年度の入学生が最後の学年となるが、最後まで見守り、充実させたい。

### 2 地域等との協働の取組について

#### (1) 令和元年度実施状況(副校長より説明)

- ①1学年 総合的な探求の時間「ワークショップ」(10/21、10/28 実施)
- ②2学年 総合的な学習の時間「地域インタビュー」(10～11月実施)
- ③3学年 シチズンシップ講演(桐ヶ谷 逗子市長による講演) (11月11日実施)
- ④池子小学校地区避難所運営訓練参加 (11月16日)
- ⑤令和元年度地域貢献活動 (10月31日実施)

#### (2) 各部会ごとの検討(今年度の地域連携の取組の検証及び次年度への提案等について)

##### ①学力向上部会(角田、高橋、澤野、小池)

- ・2学年の地域インタビューについては、インタビュアーのメンバーが多彩なのがよい。卒業生や逗子市内在住の起業家なども声掛けしたらどうか。また、インタビュアーを生徒が探してみるのもよいのではないか。
- ・生徒が記入する報告書の書式(形式)について教員サイドでさらに検討すべき。(日時、場所、相手の氏名・職業などの記入欄をきちんと設けておく等)

##### ②地域連携部会(岩佐、村川、木下、福井)

- ・1学年のワークショップについては、今年度は教員の担当者の連絡がよく、講師の方々から好評であった。また、生徒も例年になく活発に取り組んでおり、こちらも好評であった。
- ・今年度は例年に比べて講座数を14から10に減じた。それにより、各講座ごとの参加生徒数が増えたので、手が行き届かなくて大変な思いをした講師もいたようだ。次年度は1学年が1クラス減なのでちょうど良いかも。
- ・4年後の逗葉高校との新校にも、このような活動は引き継いでほしい。
- ・ワークショップの講師を希望する地域の方々は多くいらっしゃる、その中から10人の講師(講座)を厳選することがコーディネーターとしては大変な仕事である。
- ・ワークショップで自分が参加した講座以外の講座でどのようなことが行われたのかということに関わったすべての生徒や講師が互いに共有できるような場(活動風景の写真展など)があればいい。
- ・池子小学校地区避難所運営訓練に逗子高校の生徒が参加しているのは、地域との連携を深める意味

でも有益だと思う。他の小学校区にも参加したらどうか。

③キャリア部会(矢島、川島、波多野、下山田、新村)

- ・地域インタビューは、生徒にとって先生や親以外の大人との関わりのなかで自身の進路意識を明確にさせるよい機会となった。
- ・ワークショップの開催時期が10月になったことはよかった。
- ・ワークショップの講座の一つであるトレイルランを学校の授業に取り入れてはどうか。
- ・台風被害で海岸が汚れていた時に、地域貢献活動（または生徒の主体的なボランティアを募り）で清掃に行ければよかった。

以上

(参考：今後の開催予定)

	開催日	概要
第5回	3月4日(水)	学校評価(実施結果)、各部会